

1年 国語科・生活科

「かぞくニコニコ 大きくせん」

1年生では、国語や生活科で絵本の読み聞かせをしています。これから学習を進めていく生活科の「かぞくニコニコ 大きくせん」につなげていくために「ホッキョクグマくん、だいじょうぶ？」や「いろのかげらのしま」という環境問題に関する絵本を読み聞かせしました。

「ホッキョクグマくん、だいじょうぶ？」を聞いた子供たちは、南極の氷が溶けたり、森が減少してきたりと地球全体で起きている異常気象が自分たちの生活とつながっていることを知りました。そこから自分たちに毎日続けてできることを考え、電気を消したり、エコバッグを持つようにしたりするなど、地球のためにできることをしようという思いをもちました。

「かぞくニコニコ 大きくせん」では、家庭での手伝いをしていく中に、環境に配慮した活動を取り入れて、家族だけでなく、地球もにこにこにできるような学習を展開していきます。そしてこの単元を、子供たちが地球のためにできることを考え、実践していくスタートにしたいです。この単元は、SDGs「13. 環境問題に具体的な対策を」に関連しています。



3年 社会科

「かしこい消費者とは」

社会科では、「かしこい消費者とは？」という大きなテーマで身近なスーパーマーケットやコンビニなど販売の仕事やそこで働く人々の思いを学んでいます。販売の仕事や働く人が私たちの生活を支えていることに気付いたり、学習したことをもとに自分たちの消費生活に生かしたりするなど、より生活に密着した学習を行っています。これらの点は SDGs の主に「12. つくる責任 つかう責任（持続可能な消費と生産のパターンを確保する）」に関連しています。目標 12 は、先進国が開発途上国か、裕福か貧困かにかかわらず、私たち一人ひとりが消費者として生活パターンを改革するようよびかけている。また、ターゲット 12.8 には、「2030 年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする」とあります。この学習を通し、「賢い消費者とは何か。」「これからどのような買い物の仕方をしていくのがよいのか。」など永続的な問いと向き合いながら販売者と消費者、生産者など様々な視点で消費について学習していきます。

